



濱中先生、南極に行く。

『えーっ！？南極？ほんとうに行けるの？行っていいの？』

そうなのです。この度、夢のような機会に恵まれ、南極行きの切符を手に入れることができました。冰山を歩くペンギン達の姿、空一面に揺らめくオーロラの映像が脳裏に浮かび、思わずニヤニヤしてしまいます。本物の南極をこの眼で見られるチャンスが、自分の人生に訪れるなんて…

日本の南極観測は、1957年に国の事業としては始まり、60年にわたる歴史があります。6年ほど前から、小・中・高校の教員が観測隊と一緒に南極に赴き、日本の学校に向けて授業をするというプログラムが行われており、今年の11月末に出発する第58次南極観測隊に、奈良県の先生と私の2人が同行することになりました。実際に見て感じた南極の様子を、生徒の皆さんにお伝えすることが、ここでの私の任務となります。出発までの数ヶ月は、今まで通り保健室の業務をしながら、この通信を通して少しずつ南極について理解を深めていこうと思うので、皆さんもどうぞおつきあいください。

厳しい環境の中で過ごす事になるので、健康と体力が頼りですが、南極の魅力をたくさんレポートできるように、がんばってきたいと思います。



11月の末、日本を発ちます。空路でオーストラリアのフリーマントルに行き、そこから『しらせ』という船で、南極の昭和基地を目指します。帰国はシドニー経由で、3月末になる予定です。

三年生の卒業式は、海の上からお祝いますね。

みんなで作る

南極通信

のお知らせ

これから『南極通信』を発行していく予定です。

「みんなで作る・みんな学ぶ・みんな楽しむ」をコンセプトに作成していきたいと思います。そこで、次の2つを募集します。

①南極調べ隊！

南極ってどんなところ？どんな自然現象があるの？どんな生き物がいるの？などなど、濱中先生も知らないことばかりです。一緒に調べて、紹介してくれる人を大募集します。南極に関する事なら、どんなジャンルでもOK。興味のある分野で調べてみましょう。夏休みの自由研究にするのも面白いかもしれません。

②南極で、見てきて、聞いてきて、確かめてきて！

南極に行って、濱中先生に見てきて欲しいもの、観測隊員さん達に聞いてきて欲しいこと、実際に確かめてきて欲しいことのアイディアを大募集します。必ずしも可能とは限りませんが、できるだけ検討してみたいと思います。

※ 南極通信掲示板(1階廊下)に掛かっている応募用紙に記入して封筒に入れるか、もしくは保健室に持って来てください。皆さんの素敵なアイディアをお待ちしています！！